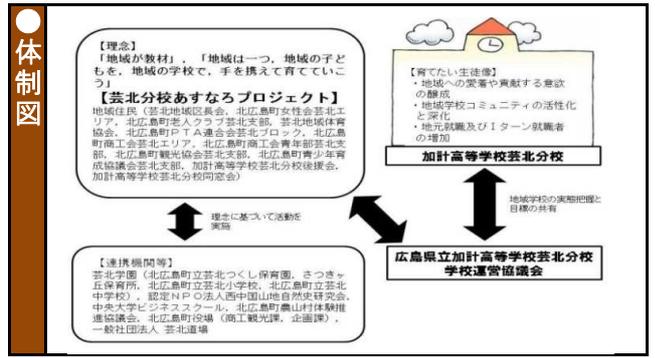


「芸北の子は 芸北で育てる」 芸北分校あすなるプロジェクト

| | | |
|---------|------------------------|----------------------------|
| 広島県北広島町 | ●活動名 芸北分校あすなるプロジェクト | ●関係する学校名 広島県立加計高等学校芸北分校 |
|---------|------------------------|----------------------------|

| | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------|-----|----------------|-------------|----------|------|
| 協働活動開始年度 | 平成 26 年度 | 関係学校数 | 1 校 | のべ学級数 | 3 学級 | のべ児童・生徒数 | 98 人 |
| 活動区分 | 学校支援活動 | 地域課題解決学習 | | 地域人材育成 | | | |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 1人 | 地域学校協働活動推進員等の数 | | 配置人数 13人 | | | |
| 学校運営協議会 | 指定・設置日 令和元年7月1日設置 | ボランティアの数 | | 延べ登録人数 145人 | 企業・NPO等との連携 | 有 | |
| 参考URL | https://twitter.com/kakegeihoku?lang=ja | | | | | | |

| | | |
|------|----------------|----------------|
| ●連絡先 | 広島県立加計高等学校芸北分校 | ☎ 0826-35-0726 |
|------|----------------|----------------|



●活動の概要・経緯

広島県北広島町芸北地区は、少子高齢化に伴う人口減少に伴う様々な課題を抱え、各地域がその再生に取り組んでいる。教育の再生を図る観点から、平成6年「芸北教育開発プロジェクト」を発足し、芸北地域内の地域住民と保幼小中高が互いに連携し、「地域は一つ」「地域の子どもを、地域の学校で、手を携えて育てていこう」という願いのもと、芸北教育の一層の充実を図ってきた。平成26年からは芸北地区区長会、北広島町女性会芸北エリア、芸北地域体育協会、北広島町PTA連合会芸北ブロック及び北広島町商工会芸北エリア等、地域住民が主体となって運営する「芸北分校あすなるプロジェクト」が、地域と学校をつなぐコーディネーター役となり、様々な団体の活動を組織的・系統的に整備することで、地域課題解決学習や人材育成学習、学校支援活動が効果的に実施出来ている。また、これらの活動を一過性の行事として終わらせるのではなく、学校経営計画や教育課程にも取入れることで、計画的・安定的な取組とすることが出来ている。

令和元年7月には学校運営協議会が設置され、課題となっていた地域と学校の実態把握や人材育成目標等の情報共有の場が設けられた。学校運営協議会で共有された情報を踏まえながら「芸北分校あすなるプロジェクト」がコーディネーターの役割を果たし、次の時代(地域)を担う人材育成・地域課題解決学習等を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 1 学校支援活動
 - (1)授業補助 総合的な学習の時間において、1年次では「地域を知る」、2・3年次では、「地域を活かす」をテーマに授業を展開し、地域と協働して地域資源の紹介や魅力の発見などの教育活動を展開している。
 - (2)部活動指導支援 地域住民がボランティアで競技スキー(アルペン、クロスカントリー)の指導をするなど、地域の支援を受けながら、部活動強化を図っている。
 - (3)下宿支援 男子・女子寮の運営や生活指導等を地域住民が主体となって行うとともに、地域から農産物の提供を受けるなど、物心両面で地域住民からの支援を受けながら生徒の豊かな人間性を育てている。
- 2 地域課題解決学習 地域住民を招聘して、地域での生き方・あり方について考える「キャリア朝礼」や、地域資源を活用した地域経済の活性化について学習活動を行っている。活動では、実際に、生徒が地域に出てフィールドリサーチをしたり、地域住民にヒアリング調査したりするなど、地域に「あるもの」の有効活用方を検討している。
- 3 地域人材育成 生徒が実際に地域活動(神楽公演、子ども会、地域交流会等)に参加して、地域を担う者としての資質・能力の育成を図っている。

【実施に当たっての工夫】

- 「地域が教材」の考えを基に学校運営協議会で目標を共有し、様々な団体等が所属する芸北分校あすなるプロジェクトがコーディネーター役を担うことで、多様な人材や団体を学校教育諸活動につなげることとしている。
- 各学期に1回程度、学校運営協議会の役員会を開き、地域学校の実態把握、今後の目標と実際の運用等をPDCAサイクルで行い、活動の充実を図っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域と学校が、学校運営協議会や実際の活動をととして、育てたい生徒像を共有することで、人材育成の場が学校だけではなく地域へも広がった。
- 実際に生徒が学校の外に出て、地域行事への参加や地域課題解決に向けたフィールドリサーチ等を行う姿が、地域住民にとっても励みや誇りとなり、「生徒のためにかかできないか」と考え行動するようになり、学校教育への積極的な参加や生徒の活動の場を提供するなど、学校だけではなく地域も活性化し地域と協働・共栄の姿が出来ている。
- 生徒自身も、地域住民や地域社会に触れ合うことで、「将来、地域に帰って恩返ししたい」など地域への愛着や貢献意欲が高まり、地域計画や教員養成等の大学進学や地元就職を考えている生徒数が増加している。

● その他

連携先:北広島町立芸北つし保育園、さつきヶ丘保育所、北広島町立芸北小学校、北広島町立芸北中学校、中央大学ビジネススクール、北広島町農山村体験推進協議会、北広島町役場、一般社団法人 芸北道場、認定NPO法人西中国山地自然史研究会



「地域の方から伝統芸能を学んでいる様子」



部活動支援「競技スキー」の様子